

いなべ市 市制 20 年の歩み

令和5年12月1日に、いなべ市は市制施行20周年を迎えました。
さまざまな出来事があったこの20年を年表にまとめ、振り返ります。

いなべ市 誕生

平成15年12月1日合併

三重県内では平成第1号の合併で、14番目の市として誕生。
面積は219.58km²で、当時は熊野市に次ぐ、県内で2番目の
大きさでした。

H16
(2004)

H16.4

三岐鉄道北勢線大泉駅(新駅)と ふれあいの駅「うりぼう」オープン

大泉東・長宮・六石の3駅が廃駅。
パークアンドライド推進のため、無料
駐車場を65台分整備しました。



▲員弁東小学校の皆さんが
飾りつけた花電車が話題
となりました。

H18
(2006)

H19
(2007)

H18.3

阿下喜温泉「あじさいの里」オープン

こんにちは赤ちゃん訪問事業
「NHK ニュース おはよう日本」で紹介

H22
(2010)

H22.8

いなべ総合学園高等学校 野球部が甲子園初出場

H23
(2011)

H23.3

石榑トンネル開通

石榑峠の県境部では、狭幅員・急勾配・急カーブが連続する
ことから、大型車の通行規制や冬期の通行止めを余儀なく
されていましたが、トンネルの開通により解消されました。

H25
(2013)

H25.7

国の天然記念物 「ネコギギ」の繁殖に成功



◀員弁川水系で保護された個体
をルーツに持つ親個体3ペア
から計54匹の稚魚が生まれ、
順調に成長しました。

H26
(2014)

H26.4

住民票等証明書の コンビニ交付サービスをスタート



H27
(2015)

H27.5

ツアー・オブ・ジャパン いなべステージ 初開催

H29
(2017)

障がい福祉サービスの3施設(オレンジ工房あげき、篠立きこの園、大安ぴあハウス) が公設民営によりオープン

H30
(2018)

H30.10

国内初の「楽器寄附ふるさと納税」開始



◀寄附された最初の楽器は
大安中学校に届けられました。

H31、R1
(2019)

H31.3

東海環状自動車道 大安IC～東員ICが開通



開通を前に、高速道路を自転車で行く
イベントも開催されました。

R1.5

市役所新庁舎・にぎわいの森がオープン



◀新しい時代「令和」とともに幕開け
した新庁舎とにぎわいの森。にぎわ
いの森は、単なる商業施設ではなく、
農業振興や生業・就農促進、商業・
観光振興、市民協働の促進など、ま
ちづくりやひとづくりの拠点として
位置づけられています。

R2
(2020)

R2.7

「SDGs 未来都市」、 「自治体 SDGs モデル事業」に選定

R3
(2021)

R3.10

にぎわいの森の来場者が100万人突破

R5
(2023)

R5.3

ネコギギ保護の取り組みが「日本水大賞 環境大臣賞」 を受賞

R5.4

Nordisk Hygge Circles UGAKEI がグランドオープン



さらなる発展を目指して

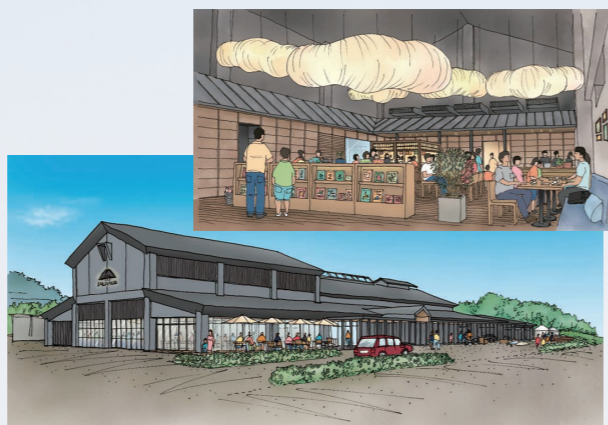
さらなる発展を目指して これからの動き

阿下喜温泉の再生

令和6年4月から、「自然と健康」をコンセプトに、いなべの自然資源を取り入れて、健康につながる温泉と食事を満喫できる施設へと生まれ変わります。

リニューアル後は、「サウナエリア」、「宿泊棟エリア」が新設されます。サウナエリアではロウリュ（フィンランド式のサウナ）を体験でき、アロマオイルの香りとともに楽しめます。このほかにも2種類のサウナが利用できます。

宿泊棟エリアには、トレーラーハウスが設置され、非日常の空間で心ゆくまで温泉を楽しめます。



梅林公園の再生

大手アウトドアメーカー「スノーピーク」と連携し、梅林公園の梅を生かした野遊びSDGs拠点の整備を行います。

この施設には、グランピングエリアやキャンプサイトがあり、いなべの自然やアウトドアを堪能できます。

拠点棟では、レストランで食事や野遊び体験ができ、キャンプ以外も楽しめます。

梅の咲く早春だけでなく、オールシーズンで活用できる施設へと再生を進めます。



東海環状自動車道の整備促進

令和6年度までに北勢町阿下喜の(仮称)いなべICが、令和8年度までに県境の(仮称)二之瀬トンネルを含む全線開通が予定されています。

これを生かして、企業の誘致を進めるほか、新たに整備する観光拠点への誘客を図ります。



いなべ市誕生20周年～市長のメッセージ～

いなべ市は、令和5年12月1日で市制施行から20周年という節目を迎えました。本市が誕生し、20年という歳月を皆さまとともに過ごせたことを大変うれしく思います。

20年を振り返りますと、景気の変動、自然災害、新型コロナウイルス感染症の流行など、幾多の社会情勢の変化を経験しました。そのようななか、本市は企業誘致により財政と雇用の安定をもたらすとともに、石榑トンネルや大安ICなどの交通網の整備により人口交流を促進しながら発展してまいりました。また、梅まつり、ツアー・オブ・ジャパン、新そば祭りなどのイベントの開催、本市がフェアトレードタウンやSDGs未来都市の認定をいただいたこと、さらに、グリーンクリエイティブいなべやにぎわいの森が大臣表彰を受賞したことで、全国的に「いなべ」の知名度が高まり、観光客も増えました。これも市民の皆さまをはじめ、関係する皆さまのご尽力の賜と深く感謝申し上げます。

私もいなべ市長に就任してから20年がたち、6期目を迎えます。より良いいなべ市を目指して、これまで築き上げてきた自然、歴史、文化、地域コミュ

ニティを大切にしながら、次の10年、20年を視野に入れた「市民が主役のまちづくり」を進めてまいります。これからも、新たな魅力を発信し、交流を定住につなげ、市民の皆さまが誇りと愛着を持てるまちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



いなべ市長
日沖 靖

Linkも20周年を迎えました



これからも、市民のみなさんが毎月楽しめるような情報誌の作成に努めていきます。今後とも、いなべ市情報誌Linkをよろしくお願いいたします。

積み重ねてきた20年。これまでの歩みを糧に、これからのいなべ市の未来につなげていきます。